



在宅医療 市民向けミニ講座 はじめての在宅医療

この講座では、病気になり、通院ができなくなった場合に自宅等で病気の治療を行う在宅医療について医師が紹介します。また、地域包括支援センター、いなぎ在宅医療・介護相談室の専門職に相談もできます。

日 6月10日(火)

時 午前10時30分～11時30分

場 稲城老人会館(坂浜2996の2)

講 門松拓哉氏(新百合ヶ丘あゆみクリニック院長)

申 電話、メール(必要事項○氏名○お住まいの地区)

限 6月9日(月)

先 いなぎ在宅医療・介護相談室 ☎377・4964(平日午前

声による訪問 ふれあい電話

定期的に電話をかけ、話し相手や安否確認を行うサービスです。

高年齢福祉課地域支援係
ocn.ne.jp
zaitaku.soudan@aurora.

9時～午後4時)・☎inagi-zaitaku.soudan@aurora.

日 5月17日(土)
時 午後1時～4時
講 田島靖子氏(管理栄養士)他
場 田マークイン若葉台(若葉台3の7の1) ☎331・3030



レスポリーいなぎ 発達障害の理解

発達障害の理解

自閉スペクトラム症、注意欠如多動症、学習障害を中心

にそれぞれの特性や支援のポ

イントをお話しします。

日 6月20日(金)

時 午前10時～正午(受付11午前

9時30分)

場 地域振興プラザ4階会議室

講 黒田美保氏(田園調布学園

送 大学院教授)

申 電話、メール、ファクス(必

要事項○氏名○お住まいの地

区○連絡先)

募集します 国勢調査調査員

国勢調査調査員

10月1日を基準日として統計法に基づく国勢調査が全国で実施されます。市では、国勢調査の調査員を募集します。詳細は市ををご覧ください。20歳以上の警察・選挙・税務に直接関係ない方で、調査期間中支障なく調査活動に従事できる方

▽実施期間 9月1日～10月31日

▽報酬 約8万円(2調査区の場合)

申 申込フォーム(下記参照)・窓口、郵

送

限 8月8日(金)

先 総務契約課、平尾・若葉台出張所(窓口のみ)

出 総務契約課総務係



福祉の悩み・困り事の相談は 福祉くらしの総合窓口

仕事・家計・住まい・生活・健康に関することや、どこに相談したらよいか分からない福祉全般の悩み事や困り事について、お気軽にご相談ください。

家計改善支援

生活が大変、借金や滞納がある、家計が赤字になってしまう等、お金の悩みに関して、家計改善のための支援を提供します。

支援例

- 家計表の作成
- 法律相談への案内・同行
- 低い家賃への転居や住まい探しのアドバイス
- 都営住宅申し込みのサポート 等

就労準備支援

働きたい気持ちはあるが仕事が続かない、適職が分からない、人間関係が苦手等の悩みがある方に、個別の支援プログラムを提供します。

支援例

- 履歴書の書き方指導
- コミュニケーション・パソコンの練習
- 働くための通院同行支援
- 家族向け支援 等

住居確保給付金

住まいの確保のための給付金です。支給要件があるため、事前にご相談ください。

家賃の補助

やむを得ず離職をして収入が少なくなり、住居を失った方または失う恐れの高い方には、再就職に向けた活動等を要件に3～9カ月間の家賃相当額を支給します。

転居費用の補助 NEW!

世帯員の死亡や離職等により世帯収入が大きく減少してしまった方で、家計の改善のために家賃が安い住宅に転居する必要がある方へ、転居に要する費用を支給します。※福祉くらしの総合窓口の家計改善支援を受ける必要有り ☎生活福祉課福祉くらしの総合窓口

市長コラム

No.159

国連を支える 世界こども未来会議

昨年8月のこととなりましたが、市議会北浜議長の許可を得て本会議場をお借りし「国連を支える世界こども未来会議in INAGI」というイベントを開催しました。

このイベントは、持続可

能な社会の創り手を育む教育(E・S・D)及び毎年実施し

てきた市長と小学生との懇談会の拡充として開催しま

した。未来の稲城について議論・発信していくこと

で、未来を創造し生き抜く力の育成を推進することを

目的としています。東京都多摩地区では稲城市が初の開催となりました。

こども未来会議は(一財)ピースコミュニケーション財団と稲城市が共催で実施するものです。第一部のワークショップでは、市内公立小学校12校から各校2人ずつ参加した合計24人が6



▲発表に向けたワークショップ



▲各グループの発表



▲稲城市代表の子どもたちと

つのグループに分かれ、事業賛同パートナーである(株)NNTTから提供されたウェルビーイングカード等の道具を使って「住み続けられる未来の稲城市」のテーマについて提言をまとめました。各グループの4人は、それぞれ別の小学校からの児童を組み合わせて初対面ということになりました。

そして第二部のプレゼンテーションでは、フリーアナウンサー永井美奈子さんの司会進行のもと、各グループがまとめた提言を本会議場の答弁台で意見発表し、審査員と他のグループの児童からの質疑に回答し、各審査員が採点をしました。

審査員は、私・北浜議長・杉本教育長・ピースコミュニケーション財団の一木代表理事・元外交官でavex(株)のシニアアドバイザーを務める伊藤夢人さんが務め、審査集計後に最優秀賞を決定し、表彰式を行いました。

昨年の稲城市開催に当たっては、本事業の賛同パートナーとして(株)NNTTにご協力をいただき、協力・協賛企業としてavex(株)のグループに分かれ、事業賛同パートナーである(株)NNTTから提供されたウェルビーイングカード等の道具を使って「住み続けられる未来の稲城市」のテーマについて提言をまとめました。

そして、この時に最優秀グループに選ばれた4人が、本年3月23日に千代田区丸の内にあるTokyo Innovation Baseにおいて開催された「第5回国連を支える世界こども未来会議」に出場しました。

この東京開催では、全国各地の自治体で開催されたこども未来会議で選ばれた児童に加えて各国大使館へ出場依頼した外国籍児童が参加しました。今回は審査員が優秀賞を選定するのではなく、私を含む参加自治体の首長が子どもたちへの激励を込めてスペシャルスピーカーとして参加し、各グループの発表後にコメントを述べさせていただきました。

参加者は総勢96人で、稲城市の他、品川区・豊島区・北区・浜松市・大阪府・広島県・松山市・熊本県・沖縄県から参加されました。

正午の開会の後、第一部として平和と気候変動をテーマにSDGs学習の講義

を受け、第二部では8人×12グループに分かれ、テーマに沿った発表パネルを作成するワークショップを行い、第三部のプレゼンテーションで発表しました。

各グループは日本語と英語を織り交ぜながら、平和や地球温暖化に関する分析・評価・提言等について発表してくれました。内容もさることながら、皆さん素晴らしい語学力でした。

今回の東京開催に参加された子どもたちは、大阪・関西万博で8月に開催予定の「国連を支える世界こども未来会議FUTURE SUMMIT」みらい総会の参加資格も与えられます。

さらに、これらの子どもたちの中から選考のうえ、ニューヨークの国連本部に行つて意見表明をする機会が与えられます。今回、稲城市から一人が選ばれました。おめでとうございます！

こうした素晴らしい子どもたちが将来の稲城市・東京都・日本国を担ってくれると思うと、心強い思いがしました。

日本の子どもたちがグローバルに羽ばたき、自らの価値観を持って異文化・異言語・異人種の他者ともコミュニケーションがとれるような人材に育っていくことを願っています！



稲城市長
高橋 勝浩